

『生ごみたい肥の作り方』

ごみの減量に伴い、生ごみのたい肥を利用してみたいという方に、生ごみ処理容器等でできたたい肥の一般的な作り方をご紹介します。

＜作り方＞

「生ごみ処理容器等でできたたい肥(以下「一次発酵たい肥」といいます。)」を、すぐに利用しても問題はありませんが、もう少し手間をかけた方が、「より良いたい肥」を作ることができます。

①よく混ぜましょう！

【畑・庭などで利用する場合】
「一次発酵たい肥」と「土」を『1:2』くらいの割合でよく混ぜてください。

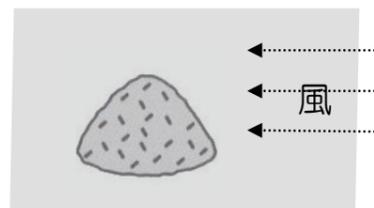
【プランターなどで利用する場合】
「一次発酵たい肥」と「土」を『1:4』くらいの割合でよく混ぜてください。



②熟成させましょう！

「①でできたたい肥」を、日陰で風通しの良い場所で熟成させてください。

《熟成の目安》
4～5日程度

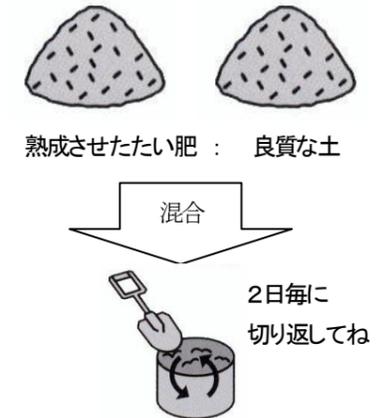


③さらに混ぜます！

「②でできたたい肥」と「良質な土」を『10:1～2』くらいの割合で、2週間かけてよく混ぜてください。

【注意】

- * 混ぜる時は、2日毎に切り返しを行ってください。
- * 混ぜる場所は、雨で流れないように工夫してください。



④さらに熟成させましょう！

「③でできたたい肥」を、さらに2ヶ月程度かけて熟成させてください。

【注意】

- * 混ぜる時は、4日毎に切り返しを行ってください。
- * 混ぜる場所は、雨で流れないように工夫してください。



⑤完成！

熟成が不完全なままご利用になりますと、植物が弱ったり、枯れるなどのトラブルが生じる恐れがあります。

